



## ご挨拶

鵬翔流吟友会 会長 梶田鵬翔

桜花爛漫、いよいよ好季節を迎えました。  
さて、今年は韓国平昌冬季オリンピック・パラリンピックが開催され、和賀国のメダル獲得数は、13個と10個、合わせて23個というアスリート達の活躍ぶりには胸を熱くするものがありました。また、明治維新より150年の歳月を経て、記念すべき様々なイベントが各地で開催され、NHK大河ドラマでは「西郷どん」が放映されております。それにちなんで5月6日には、構成吟「西南の役・ああ西郷隆盛」をえんじてみたく思います。少数先鋭の輪が会派に於いても、年間の行事は充実し、過日3月11日には、弁天座に於いて野市教室十周年の芸能大会が盛大に開催され、素晴らしい一日を過ごさせていただきました。また1月から再度明德義塾高校へ、3月17日は高知商業高校へ大野先生の情熱を肌で感じながら、ご一緒させていただき詩吟の稽古を致しました。一人一人の会員の皆様のそれぞれのお立場でご努力を賜りました。お陰様でニュースレター第2号の発刊にあたり心から深く感謝申し上げます

## ～～鵬翔流吟友会平成 29 年度の活動報～～

- 1月15日 総会・新春の集い オリエントホテル  
1月19日 高知市文化協会新春の集い オリエントホテル  
1月20日 老健施設「ありがとう」慰問 蒔絵台教室  
3月12日 香南市高齢者芸能大会 赤岡町弁天座 公文・山中・松木・笹岡  
4月18日 老健施設慰問 香北町白寿荘 野市教室  
5月21日 第6回春季大会「風雅を楽しむ春の集い」 高知商工会館  
6月11日 日総連四国地区吟詠道大会（四国地区コンクール）徳島県石井町公民館ホール  
6月17日 高知県漢詩大会 高知商工会館 県漢詩連盟 会長・飯田副会長参加  
6月25日 日総連 四国地区吟詠剣舞道大会 徳島県石井町公民館ホール  
6月25日 クラウン四国地区吟詠大会 土佐市グランデール  
7月17日 踊り踊ろう会 グリーンホール （水心流弘道館主催）  
7月30日 日本コロムビア剣詩舞四国地区決戦大会 徳島県・アエルワ 会長  
9月10日 日本コロムビア吟詠コンクール 高知県予選大会 プリンズホテル  
9月18日 宇佐敬老会 宇佐黒潮センター 宇佐教室  
10月9日 日総連全国大会コンクール 尼崎市 笹岡出場  
10月29日 第7回秋季大会「風雅を楽しむ秋の集い」 高知商工会館  
11月12日 香南市文化協会舞台芸能発表会 野市ふれあいセンター 野市教室  
11月19日 研修旅行 土佐和紙工芸村 伊野町  
12月3日 夜須町文化協会舞台芸能発表会 夜須マリンホール 野市教室  
12月5日 老健施設慰問 香北町白寿荘 野市教室  
12月9日 香南・香美市芸能大会 香美市中央公民館ホール 川添・山中  
12月9日 鵬翔流吟友会忘年会 G&G

### 30年度

- 1月 毎月1回の明德義塾高校ニッポンクラブの詩吟教室開始  
1月15日 総会・新春の集い オリエントホテル  
1月19日 高知市文化協会新春の集い オリエントホテル  
1月20日 老健施設「ありがとう」慰問 蒔絵台教室  
3月11日 野市教室創立10周年記念芸能大会 香美市赤岡町弁天座  
3月18日 詩吟を学ぶ会を開催: 高知商業高校・生徒会

## ～～風雅を楽しむ春の集い～～



第6回春季大会「風雅を楽しむ春の集い」が、平成29年5月21日に、高知商工会館で開催されました。梶田鵬翔会長は、昨年秋に、一つの節目である私共の記念すべき創立五周年という記念の会が盛会のうちに終了することができ、今年は新たなスタート地点に立ち会員一同一丸となって力強一步を踏みだすところだと挨拶した。式典の後に、教室別合吟6題の後に、個人吟詠、続いて構成吟詠「春風の詩」として、中国の唐の時代の春をうたった名詩、6題がそれぞれの詩の紹介とともに、吟じられた。続いて、歌謡吟詠7題、会員吟詠13題、指導者・役員吟詠6題が吟じられた。続いて来賓吟詠「華麗なる吟と舞」が、六六吟詠会高知県本部長上本竹永先生をはじめ、水心龍講道館宗家、林靈山先生とその社中の皆様、そして土佐麗洋館会の日本舞踊もご披露頂き、最後に会員全員のフィナーレ：三百六十五歩のマーチの大合唱で、盛会に終わった。





合吟：左より松木鴻紫、宝蔵瑠紫 宝蔵正



独吟：岡内0000



舞 花柳流 中岡 あき先生



舞：土佐麗陽会大崎麗蒼先生 吟：中西鶯翔



フィナーレ 365 のマーチ：指導 宝蔵瑠紫

# 風雅を楽しむ秋の集い

(第67回 高知県芸術祭協賛行事)



合吟

第7回秋季大会「風雅を楽しむ秋の集い」、10月29日に、高知商工会館で行われた。12時、皆が会場に集合する時間は、強い雨であったが、開催の13時には、青空になり、会場の雰囲気も明るくなった。高知県漢詩連盟会長上本竹永先生はじめ、後援会長久武邦雄様、顧問の桑名龍吾先生、竹村邦夫先生方には、大会式典に御列席いただきました。

新しい試みで、今回は男性会員全員の合吟：富嶽、女性会員の合吟：松竹梅が会場に響き渡り、一挙に会場の雰囲気を盛り上げた。



男性全員による合吟



女性全員による合吟

第2部、会員吟詠の後に、第3部、来賓「雅趣を織る吟と舞」となり、華麗な舞が披露された。第4部は、会員吟詠、雰囲気が変わって第5部は、会員により歌謡吟詠が披露された。第6部は構成吟「炎の文豪頼山陽」と題して、それぞれナレーションをいれての吟詠が見事な調和をなしていた。彼が作詩し、多く吟じられた9題を、よく説明されたナレーションの後に吟じた。

### 明德義塾中・高等学校生徒による吟詠



第7部は、昨年に引き続き明徳中・高等学校の生徒による合吟が、この大会を盛り上げた。中国からの留学生女子生徒2名、男子生徒5名により3題が吟じられた、吟じられた後に、大きな拍手がわき、付き添いの先生も感動していた。後に、彼ら全員から率直な詩吟への想いと謝意の手紙が届いた。彼らは詩吟をサークルとして、今後も続けることになった。



第8部は歌謡吟詠。第9部は来賓華舞台と題して、「民謡・吟・舞」で舞台を飾った。最後に、会長・役員吟詠7題が終わると、会員と来賓も舞台に上がり、365のマーチの大合唱をして閉会となった。後の懇親会は、懇談ばかりでなく寸劇、ダンス、踊りもあり楽しんだ大会であった。

### 秋の研修会 土佐和紙工芸村 伊野町



平成29年11月19日(日)に、新庄川の岸边にある土佐和紙工芸村(総合施設)で、会員と高知大学留学生が12時に集合して、昼食会のあと和紙すき体験を楽しんだ後に、会員なども招待して、模範吟詠のほか、詩吟学習会も行い、楽しいひと時を過ごした。



花押し葉手すきハガキの実習風景 左：梶田先生 右：フィリピンからの留学生

## 平成 30 年度 新春の集い



平成 30 年 2 月 4 日（日）、オリエントホテルにて午後 12 時より総会が開催されて、昨年度報告、昇段の授与などがあった。午後 1 時 10 分より“、新春の集い”が開催された。梶田鵬翔会長より、時代に流されず、また、命ある限り、まずはお一人お一人が健康で、お互いに研鑽を忘れずひとのために尽くせる人として、くいのない毎日でありたいものでございます。私も実践躬行してゆくことをお誓いして意義ある 1 年にしたいと挨拶された。

第 1 部は、教室別合吟、第 2 部は会員吟詠であったが、インフルエンザの流行、急な日程の変更で欠席者が多く出たのは残念だった。第 3 部は、指導者会・来賓吟詠となり、六六庵吟詠会高知県本長の上本竹永先生が「花朝澱江を下る」、梶田鵬翔会長が「紅白梅図屏風」吟じられて会場が盛り上がり、開会となった。



## 老健施設 NPO 法人「ありがとう」 訪問



昨年に引き続き、平成 30 年 2 月 23 日に、蒔絵台教室に近いところにある老健施設「ありがとう」を、梶田鵬翔会長ほか 4 人で訪問した。小さな施設であるが木造の建物で、整頓の行き届いた集会室で行われた。元気

なお年寄が多かったが、皆の反応を見ながら、発声の稽古、荒城の月などから始まり、各人の詩吟を披露したり、稗つきのうたを歌った。1 時間あまりであったが、梶田会長の高齢者に合わせた進め方で、和やかな雰囲気、参加された方は、笑顔で私達と別れた。

## 野市教室創立 10 周年記念芸能大会



平成 30 年 3 月 11 日（日）香南市赤岡町弁天座で、野市教室創立 10 周年記念芸能大会が行われた。升席が中央になり歌舞伎なども行われている。今回は、地元との協力で、歌謡曲、フラダンス、日本舞踊なども、賛助出演をして下さった。記念大会は 12 時から開催された。

男性会員による合吟で記念大会は始まった



### 高知商業高校の生徒会の生徒へ詩吟を学ぶ会を開催



3月17日に、高知商業高校・生徒会の生徒達に、「詩吟とは」ということから、漢詩の作り方、詩吟の表現方法などを梶田会長と飯田会長が説明があった後、発声練習の後に「勸学」を皆で吟詠練習。飯田副会長に自作の漢詩を吟じ、会長は「里見八犬伝」を吟じて、初めて、詩吟の楽しさを知った学生は感動していた。次回が楽しみである

## 教室だより

### 蒔絵台教室 松代迪子

一年前より蒔絵台教室の仲間入りをさせていただきました。詩吟は、若い時から興味はありましたが、仕事や介護などで機会を逸しておりましたが、この度、お誘いを頂きました時に、80歳の前の習い事。気分、体力、知力の衰えで、いまさらとの思いもありました。

人生百歳の時代、このままで一ー一の思いで入会させていただきました。漢詩に込められた先人の魂・精神など奥深いものを感じながらも、今は声を出す事だけでも精一杯です。梶田先生の理念五条の教えに、少しでも近づけたら、いいな一ー一と思っています。お教室は、先輩の方々、それぞれの肩書関係なく接して頂き、毎回、中西先生、ご持参の季節のお花に近江先生大野先生のやさしい笑顔に癒されて、介護のストレスを忘れさせて頂くひとときです。ありがたく感謝致しております。

## ニュースレター2号の発刊にあたって

鵬翔流吟友会が発足して約7年の歳月が経ちました。師と弟と会員相互の深い絆で結束して、鵬翔流吟友会の歴史を作って参りました。昨年度のニュースレター1号を刊行しましたが、これを期に、鵬翔流吟友会の活動を記録に残し、また、吟詠を普及させる目的も合わせて、「鵬翔流吟友会ニュースレター」を刊行することになりました、多くの方々のご協力ご支援をお願いします。 鵬翔流吟友会広報局長 川添 壮貴